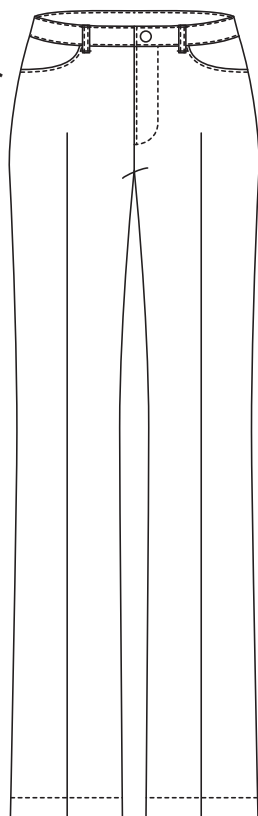


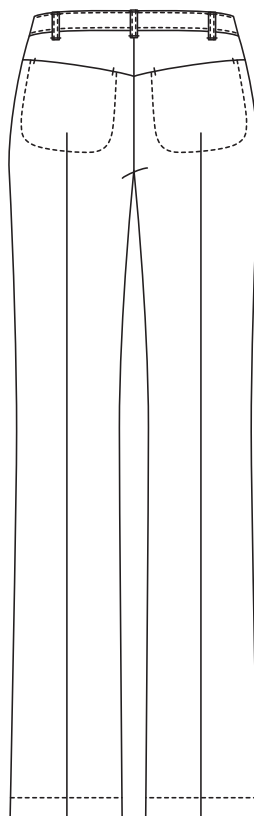
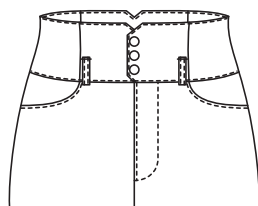
型番：10SS-P01 品名：Joker / ジョーカー (2ベルトセミバギーパンツ)

イラスト

A ベルト：
細巾カーブベルト



B ベルト：
ハイウエストベルト



型紙は著作物です。型紙をお買い上げの方は、以下の事項に同意したものとみなします。
★PDFファイル・出力紙の全てにおいて、転売・配布・貸与を禁じます。
★型紙の使用権は一人一ライセンスとさせていただきます。
★当店の型紙を使用した作品をWeebly上で公開するのには関係しては自由です。また、補正やアレンジなども自由です。

サイズ表 (仕上がり寸法)

サイズ	36/7 号	38/9 号	40/11 号	42/13 号
W	70.5	74.5	78.5	82.5
H	88	92	96	100
裾巾	24.25	25	25.75	26.5
股上	19.7	20	20.3	20.3
股下	76	78	80	80
A パンツ丈	95.5	97.8	100.1	100.1
渡り巾	28.3	29.5	30.7	31.9
A ベルト巾	3.0	3.0	3.0	3.0
B ベルト巾	9.0	9.0	9.0	9.0

用尺・付属

表地 A	110 巾 × 2.1m		
	120 巾 × 2.1m		
	140 巾 × 2.1m		
表地 B	110 巾 × 2.45m		
	120 巾 × 2.45m		
	140 巾 × 2.1m		
芯地 A	92 巾 × 0.5m		
芯地 B	92 巾 × 0.8m		
スレキ	92 巾 × 0.3m		
釦 A	15mm	1 個	
釦 B	13mm	3 個	
ファスナー	9cm	1 本	
ST テープ	12mm	0.2m	
HB テープ	12mm	0.4m	

【デザイン】

2 タイプのベルトが選べるセミバギーパンツ。A ベルトは細巾のカーブベルト、B ベルトはコルセット風のハイウエストベルト。後パンツを強めにくせとりして、ウエスト寸とヒップ寸の差が大きい方でも履きやすいよう工夫しました。腰周りはフィットしつつ、レッグはゆったり着やすいライン。センタープレスが入られます。

【仕様】

前ファスナーあき、前脇ポケット・後腰ポケットあり、裏なし。後ポケットはヨーク切り替え線利用、表地にたたきつけ。

【素材】

パンツ素材全般。ストレッチ素材でなくても正座できます。柔らかいストレッチ素材だと大きめに仕上がりますので、脇で調整してください。

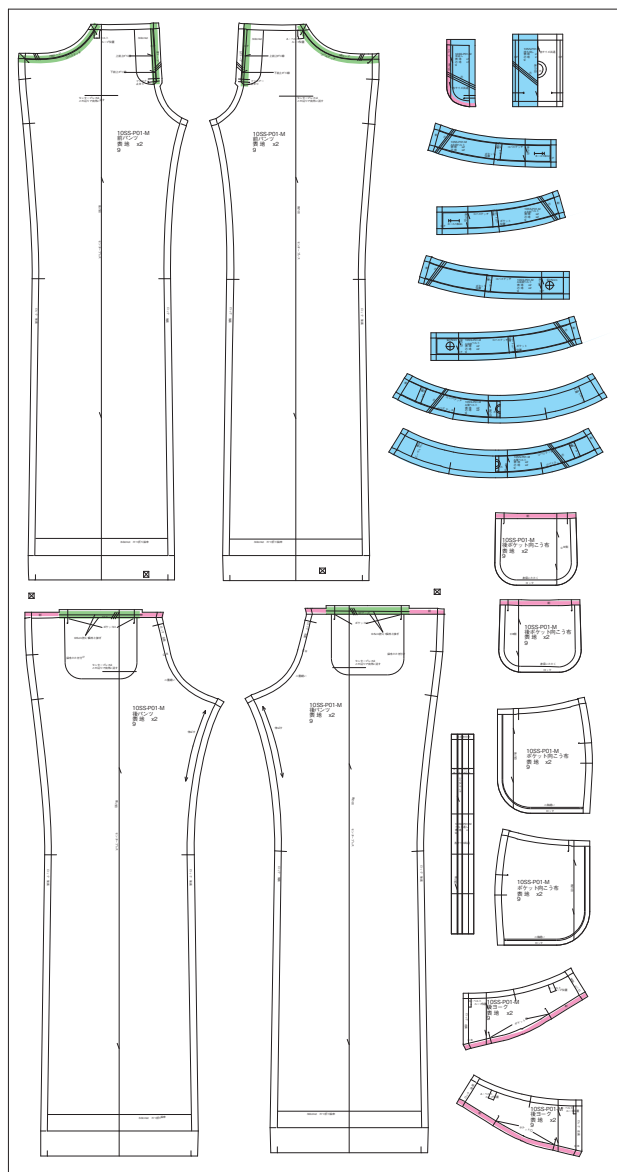
【難易度】

★★☆☆☆

【縫製の前に】

- ・地直し…お洋服のお手入れ方法に応じた地直しをしてください。クリーニングに出すなら裏から軽くアイロンをかけるだけで OK です。洗濯で縮みそうな素材はあらかじめ水通ししておくで安心です。アイロンの熱や蒸気で縮む素材もあるので、ハギレで試してみてください。
- ・芯地…使用する表地と芯地の相性を、試し貼りでチェックしてください。縦横斜めに引っ張ってみて、剥がれずアタリが出ないものを選びます。

Aベルト 110×、120× 2.1m



・裁断

裁ちあわせ図を参考に裁断する。

■色のパーツは、全面芯のものはあら裁ち（型紙より一回り大きく裁断）。Bベルトは紛らわしいパーツが多いのでシールやチャコで印をつけておく。

合印にノッチ（はさみで2～3ミリの切込みを入れて印とする）、ボタン・ボタンホール位置に糸かチャコで印をつける。センタープレスを入れる場合はプレス線にも何箇所か印をつけておく。

・芯貼り

あら裁ちしたパーツにアイロンで芯を貼り、型紙どおりに裁断する。持ち出しに部分芯を貼る。

・テープ貼り

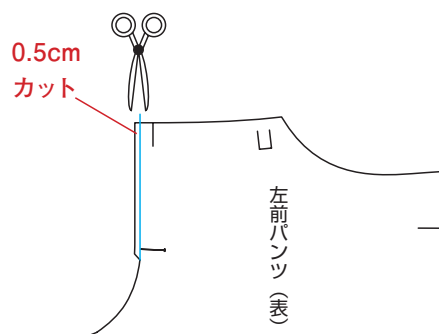
■線箇所（前ファスナーあき、前脇ポケット口、後腰ポケット口）に伸び止めテープを貼る。（裏側の縫い線にかかるように）

・ロック始末

■線箇所（見返し、後ポケット向こう布、後ヨーク、後パンツの指定箇所）はロックミシンなどで端始末をしておく。

・縫い代カット

左前パンツのファスナーあき縫い代を0.5cmカットしておく。

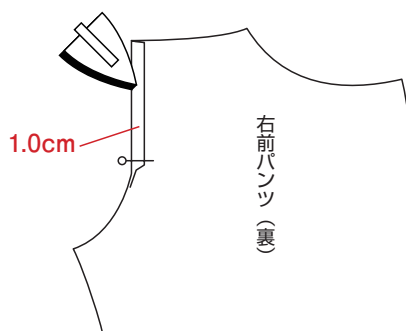
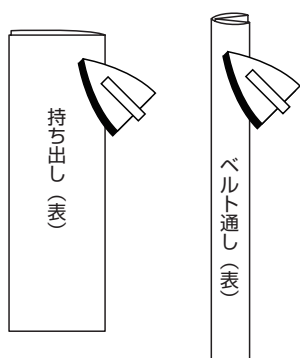


アイロン

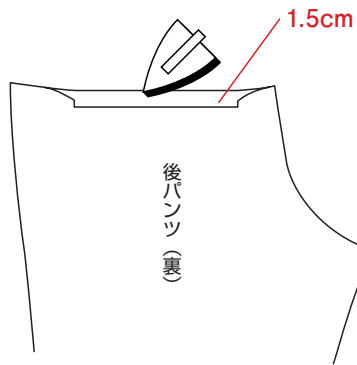
・アイロン箇所

持ち出しを2つ折りにする。ベルト通しを4つ折りにする。

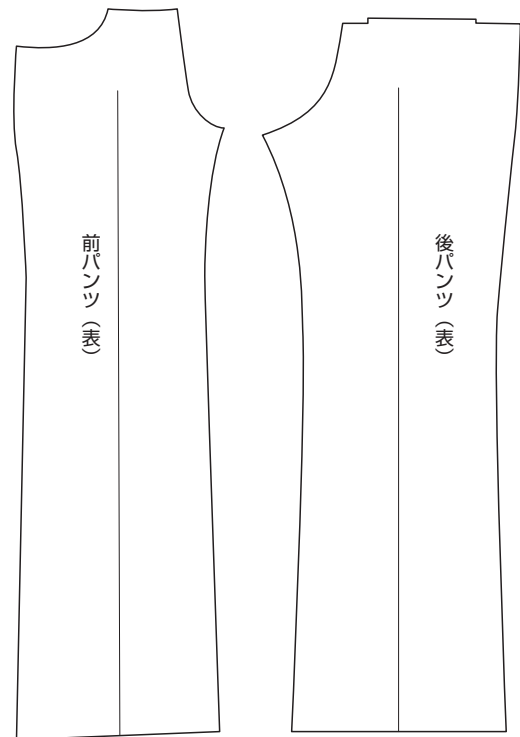
右前パンツの前あきを折る。



後パンツポケット口を仕上がりに折る。



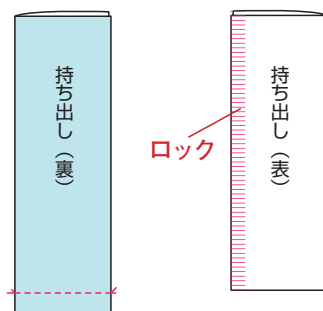
前後パンツにセンタープレスを入れたい場合は、印どおりに軽くアイロンしておく。



縫 製

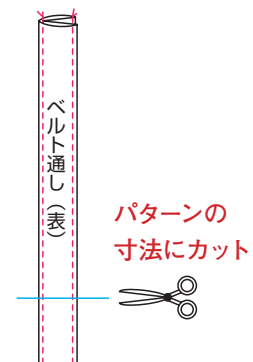
・持ち出し

持ち出しを中表に2つ折りして、下辺を縫う。
表に返してアイロンで整え、ロックミシンをかける。



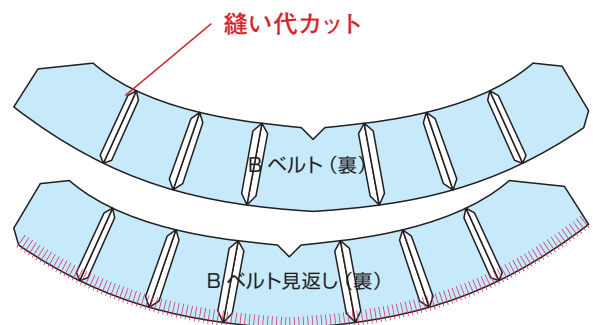
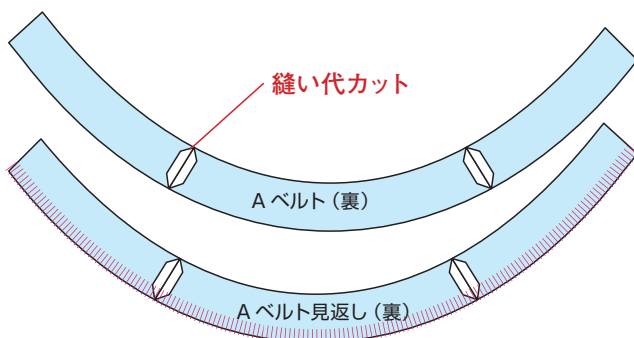
・ベルト通し

ベルト通しにコバステッチをかけ、パターンを当てて5本にカットする。



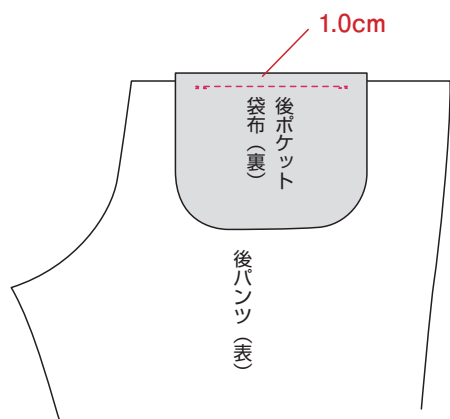
・ベルト

ベルトを接ぎ合わせ、縫い代は割る。
見返し側にだけ、下辺にロックミシンをかけておく。

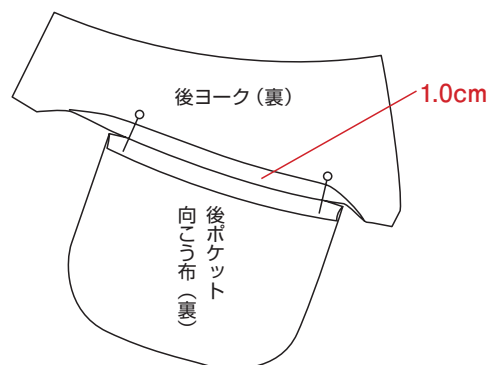


・後ポケット作り

後パンツと後ポケット袋布を中表に合わせ、ポケット口の印から印までを縫い合わせる。縫い代は袋布側に倒す。
(折り山から 0.5cm 控えられる)



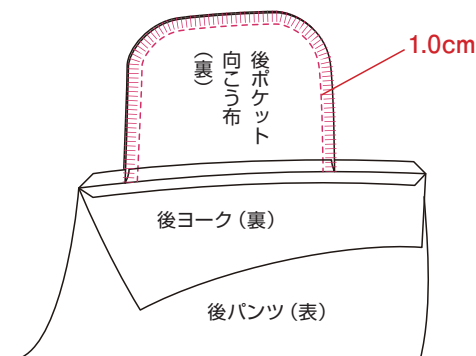
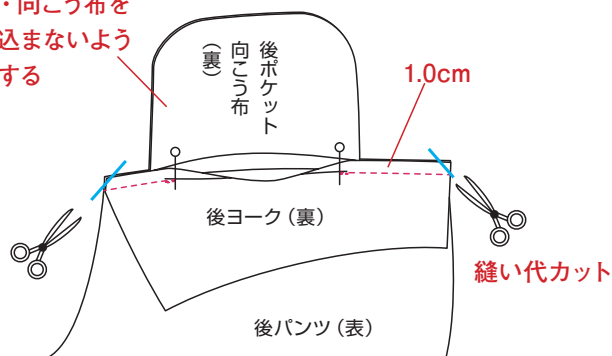
後ヨークと後ポケット向こう布を中表に合わせ、ポケット口の印から印までを縫い合わせる。縫い代は割る。



後ヨークと後パンツを中表に合わせ、両端からポケット口の印までを縫い合わせる。印の手前ではしっかり返し縫いする。縫い代は割る。

袋布と向こう布の布端を合わせて縫う。
周囲にロックをかける。

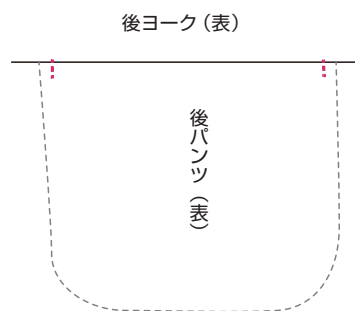
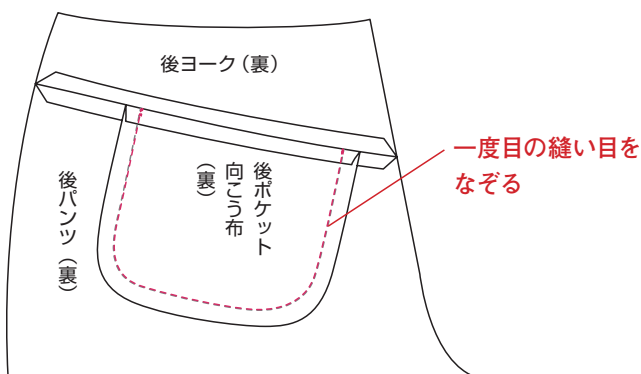
袋布・向こう布を
縫い込まないように
注意する



仕上がりアイロンで整える。袋布を（できれば肩馬やまんじゅうなどの曲面の上で）後パンツによくなじませ、仕上がり位置に仮どめする。

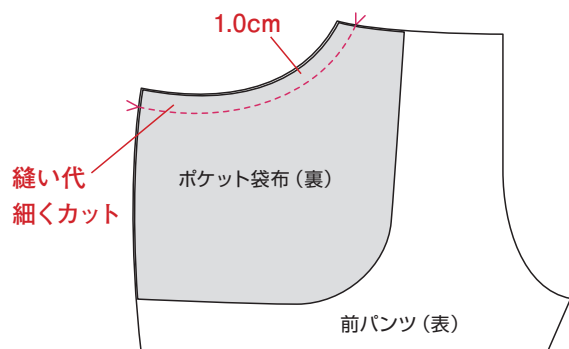
裏側から袋布のステッチをなぞってミシンをかけ、後パンツにたたきつける。

ポケット口のあき止まり位置に 3～4 針、補強のため返し縫いのステッチをかける。

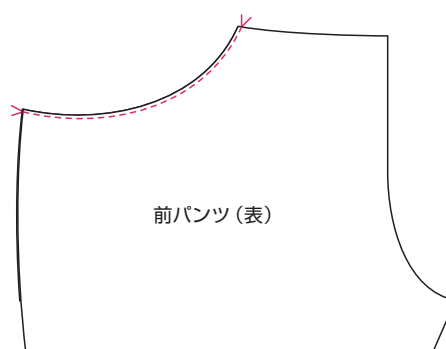


・前脇ポケット作り

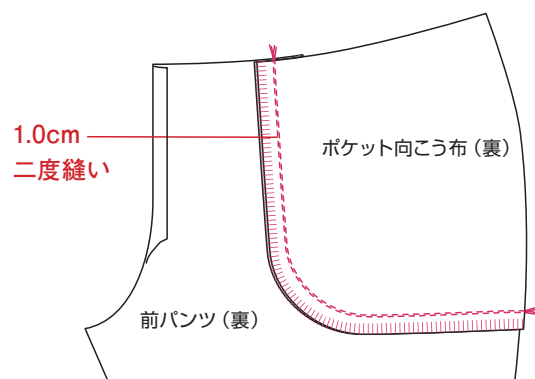
前パンツとポケット袋布を中表に合わせ、ポケット口を縫う。縫い代は0.4cmくらいに細くカットし、軽く割ってから表に返す。



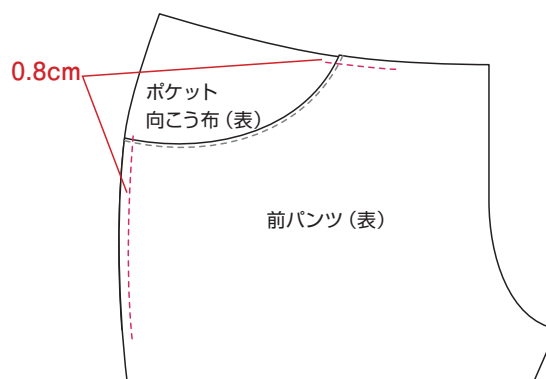
袋布側を少し控えてアイロンで整え、表からコバステッチをかける。



袋布と向こう布を中表に合わせ、まわりを縫い合わせる。一度目のステッチをなぞって二度縫いする。縫い代にはロックをかける。

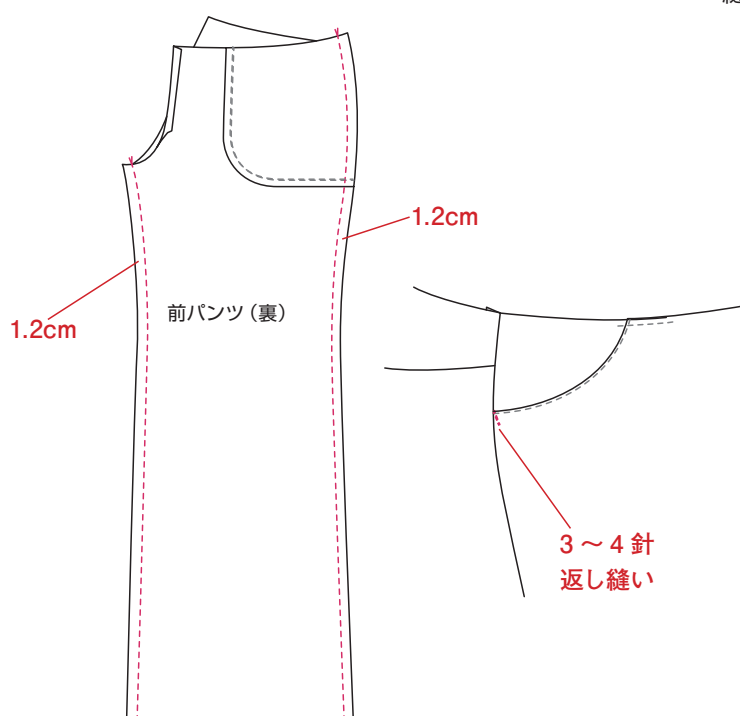


前パンツとポケットの印を合わせ、ミシンで仮どめする。正確に縫えていればポケット口が少し浮いた感じになる(手を入れるためのゆとり)。



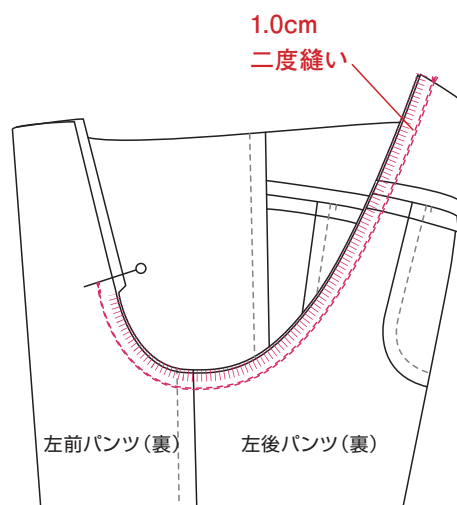
・脇、股下

前パンツと後パンツを中表に合わせ、脇と股下を縫って筒にする。縫い代はロックをかけて後ろ側に倒す。前ポケット口に補強のステッチをかける。



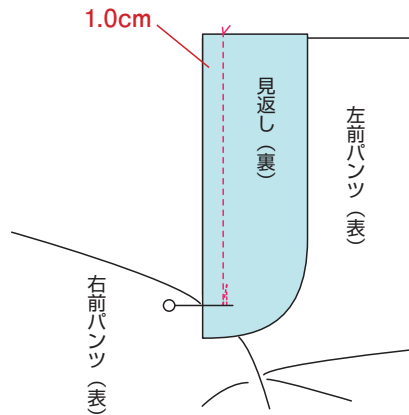
・股ぐり

片側の筒を表に返し、裏返しの筒の中に入れて股ぐりを表に合わせる。股ぐりをファスナーどまりまで2度縫いする。縫い代はロックをかけて左側に倒す。

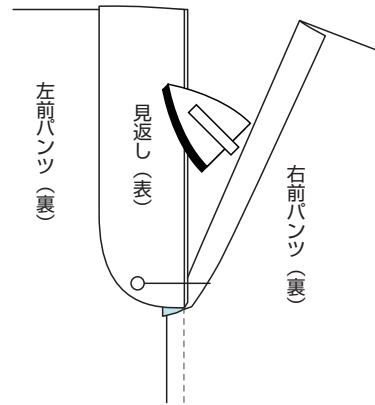


・ファスナーつけ

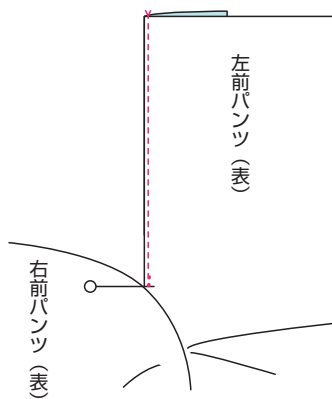
左前パンツと見返しを中表に合わせ、あきどまりまで縫う。
あきどまりは返し縫いする。
縫い代は見返し側に倒す。



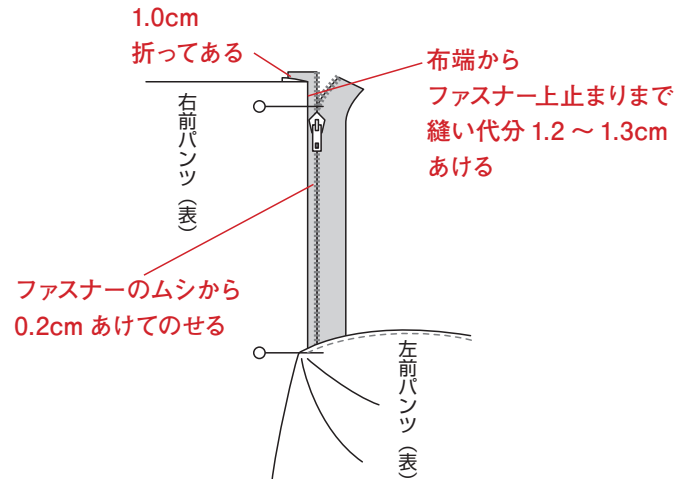
見返し側を少し控えて整える。



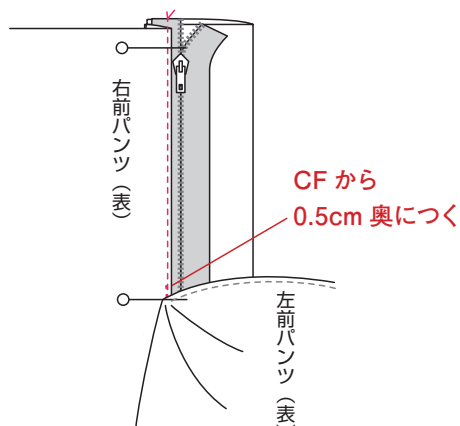
表からあきどまりまでコバステッチをかける。



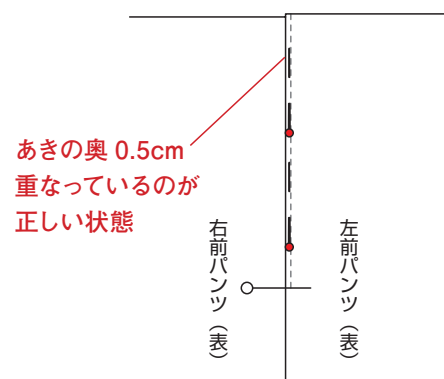
右前パンツにファスナーをあて、仮どめする。



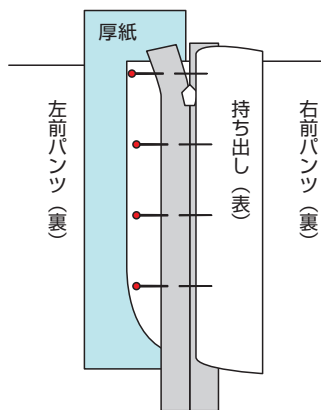
さらに後ろに持ち出しをあてる。
止まりまでコバステッチで縫いつける。



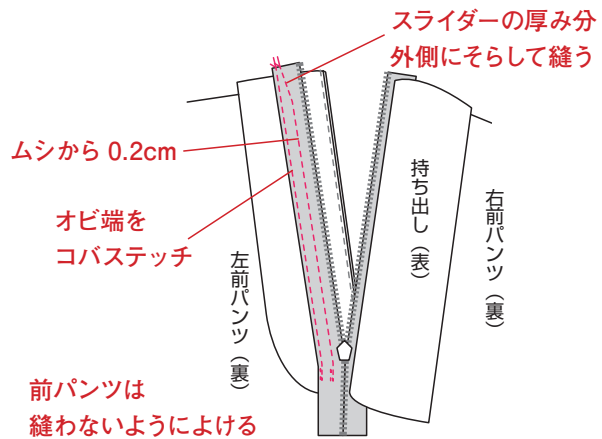
右前に左前を重ね、待ち針で仕上がりの状態にとめる。



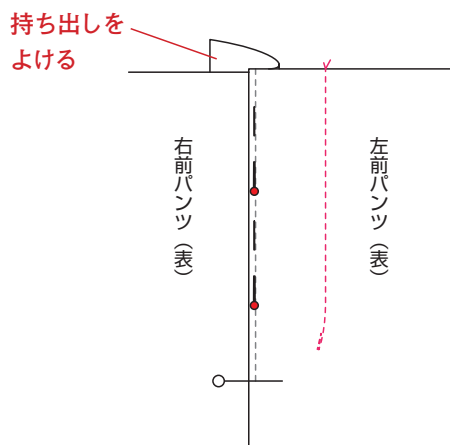
裏返して、ファスナーのオビを見返しにとめる。
(前パンツをすくわないように、厚紙などはさむとよい)



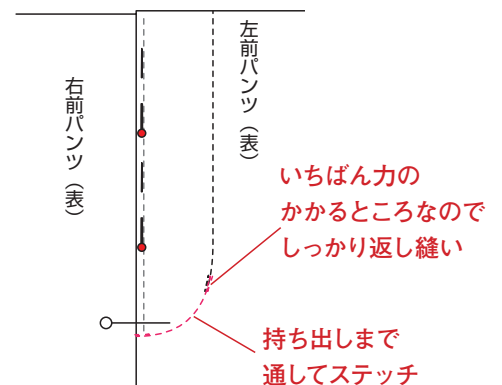
ファスナーを開け、見返しにファスナーオビを縫いつける。
まずムシから 0.2cm くらいのところを縫い、
次にオビの端を縫う。



ファスナーを閉じ、表に返して仕上がりの形に整える。
チャコなどで、左前パンツにステッチの線を印す。
まず持ち出しをよけて図の位置あたりまで縫い、返し縫い
して、いったん糸を切る。

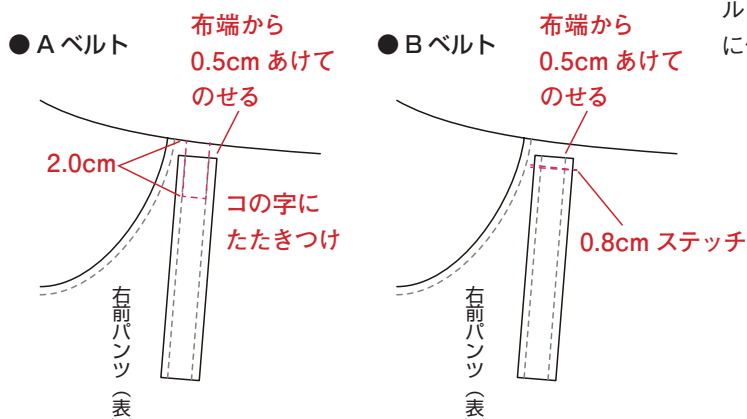


次に持ち出しまで通して、同じ位置で返し縫いして縫い始め、残りの部分も縫う。最後は 4～5 回返し縫い。
(エフロン or フラットニットファスナーの場合は、余分なファスナーはカットする。)



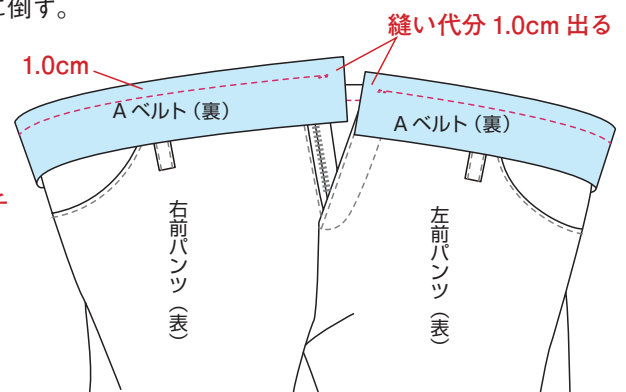
・ベルト通し

ベルト通しをウエストの指定位置に裏向きにのせ、ミシンで仮どめする。(全部で 5 箇所)

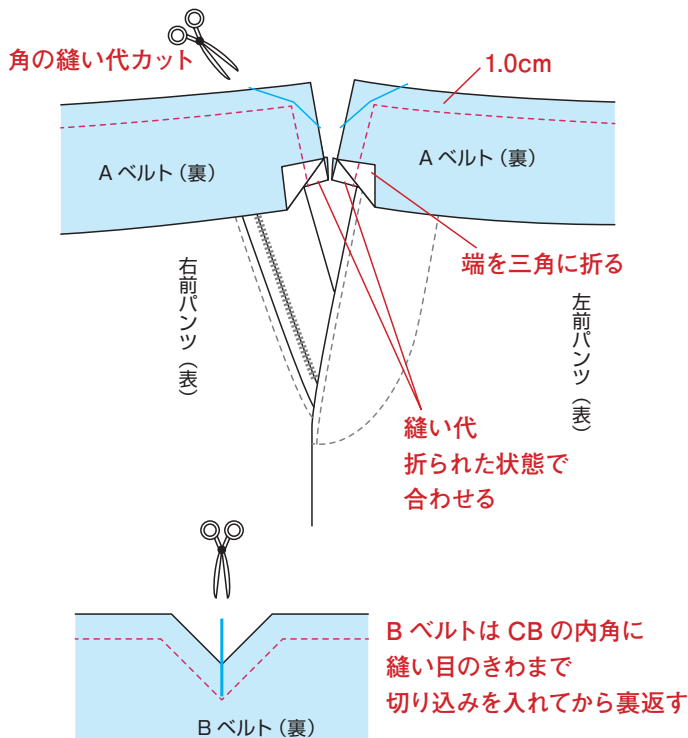


・ベルトつけ

前後パンツと表ベルト (ロックがかかっていないほう) を中表に合わせ、印を合わせて縫う。(図は A ベルト。B ベルトも形が違うだけでつけ方は同じ。) 縫い代はベルト側に倒す。



表ベルトにベルト見返しを中表に合わせ、まわりを縫う。

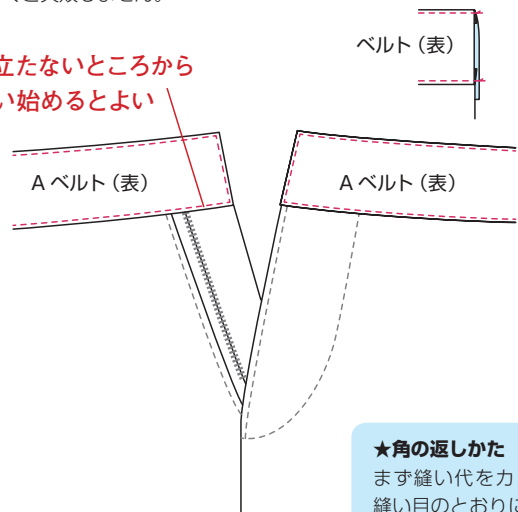


縫い代を軽く割ってから表に返し、アイロンで整える。

表からベルト周囲にコバステッチをかける。

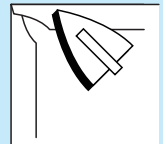
※見返し側がヨレないように、熱接着テープやスティックのりで仮どめておくと失敗しません。

目立たないところから縫い始めるとよい



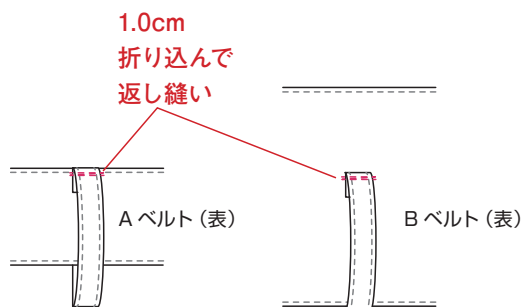
★角の返しかた

まず縫い代をカットし、縫い目とおりにアイロンで縫い代を折ります。折った縫い代がよれないように指やピンセットで押さえながら表側に押し出し、目打ちや針で整えるときれいに返ります。



・ベルト通し

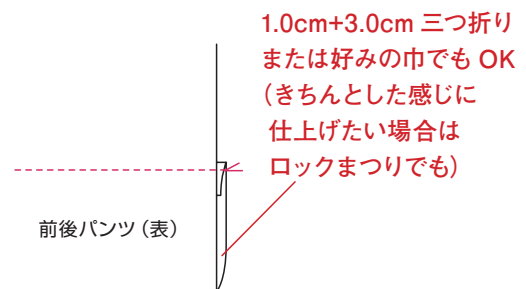
ベルト通しの端を折り、指定位置にたたきつける。



・裾始末

試着して（靴を履いて大きな鏡の前でチェック。普段ベルトをするならベルトをした状態で）丈を決める。

裾を三つ折りしてコバステッチで仕上げる。



仕上げ

・ボタンホール、ボタン

型紙をあてて位置を確認し、ボタンホールをあけ、ボタンをつける。

・仕上げアイロン

全体を軽くアイロンで整えて、できあがり。

アレンジ

・ステッチ

脇・股下・股ぐりにステッチを追加したり、W ステッチにするなどステッチ本数を変えると雰囲気が変わります。配色の糸にしてもカジュアルでかわいいです。

・後ポケット

後ポケットのステッチを表に出したくない場合は、（後パンツにたたきつけないで）袋布周囲を二度縫い・ロックで仕上げてください。